

一人ひとりを大切に

5つのリスペクト

細かいことを規制する校則はありません。制服也没有ありません。「生徒指導部」もありません。それらに代わるものとして SIS の日常の行動のベースになっているのが、「5つのリスペクト」です。自分・他の人・学習・環境・リーダーシップの5つに対しての尊重を払った行動が取れているかどうかをあらゆる場面で問われます。人間として本質的に大切なことは何かを考え自律できる生徒たちに育てます。

3学期制の少人数クラス

どの教室にも机と椅子が24セットしかありません。クラス・授業の定員は24名ですが平均人数は18名ほどです。高校生になると必要な科目を組み合わせで自分だけの時間割を作ります。幅広い選択肢の中から学びたい授業を選択できます。多くの授業が無学年制となっていて、高校1年生から3年生までに開講されています。また一年を、どの学期も同じ日数の授業日があるように3学期制に組み、学期ごとに授業が完結し時間割を組みなおします。どの学期から編入しても、自分の学んできたことやその進捗、興味、または希望する進路に合わせて柔軟に授業選択ができる仕組みとなっています。

カウンセラー

3人の専門のカウンセラーがいます。日本人二人とアメリカ人が一人。すべての生徒が、入学後すぐにまず一度必ずカウンセラーと会います。そしてその後は、必要に応じて、中高生としての日々の生活上の悩み、帰国後の適応に関すること、また、留学や海外の大学への進学についてなどどんなことでも相談できます。保護者からの相談にも応じています。

進路について考える

「進路指導」ではなく、「進路情報室」という場所に専門の教員がスタンバイしており、担任とともに、生徒たちが好きなことを学ぶ道に進むためのサポートをします。生徒たちは、自分で時間割を組み立てながら自分の本当に好きなこと、学びたいことを見つけます。一人ひとり時間割が違いますので、「文系・理系」という分類はなく、「一人一コース」制です。受験形態もさまざまに進学先は多岐にわたっています。海外の大学への進学を希望する生徒には OIS の豊富な資料とカウンセラーという心強い味方がついています。

寮があります！

学校から徒歩3分、閑静な住宅街の中にある、少し大きな普通の一軒家という感じの建物です。中学3年生以上の生徒を対象としています。一つの建物に二つの入り口で男女別になっています。原則二人部屋、高校3年生は一人部屋が与えられます。



SIS の授業

リサーチ・プレゼンテーション

中学一年生の総合科目として「知の探検隊」という授業があります。図書館司書と情報 (IT) 教員が中心となり、複数の教科教員がチームとなって指導します。日英で5万冊を超える蔵書を持つ本校の中心、図書館をフル活用し、一年間でリサーチスキル (調べる・まとめる・発表する) を学び、パワーポイントを使ったプレゼンテーションで仕上げます。

SIS では、創立以来どの教科科目でも、実験や実習、調査研究、プレゼンテーション、討論を重視し、考える力、表現する力を養っています。中学一年生で身につけたスキルを生徒たちは様々な教科で応用していきます。

年一度、いろいろな教科での優秀なプレゼンテーションを発表しあう校内プレゼンテーション大会も行われています。

編入した帰国生徒たちにとって、特に北米の教育を受けてきた生徒にとっては、これまで身につけてきたスタディスキルをそのまま活かすことができる学習スタイルに安心を感じてもらえることでしょう。また、テスト期間と呼ぶものはなく、各教科の授業の性質に合ったかたちのテストやレポート提出、プレゼンテーションなどが行われ、毎学期末に出される成績は、それらをすべて考慮してのものです。成績表のコメント欄には、教科担当者からの授業の説明、成績のつけ方の説明、そして生徒個人々の授業への取り組みについての様子が報告されます。

SIS の英語・外国語

SIS 英語科には4人の日本人教員と5人の専任ネイティブ教員がいます。入学時のプレースメントテストで4段階にレベルわけされ、どの生徒にとってもこれまで学習してきたことの続きを学ぶことができ、日本に帰国後も英語力を「維持」ではなく、さらに「伸ばす」ことができます。文学作品、スピーチ / ディベート、メディア、翻訳、絵本研究・・・などなど約45種類もの様々な種類の英語授業があります。フランス語・スペイン語・ドイツ語・中国語・韓国朝鮮語の授業も受講できます。

OIS との合同授業

美術、体育、音楽の授業はすべての生徒が、OIS の生徒とともに、OIS の教員による英語での授業を受けます。英語初心者の方の生徒にとってはイマージョンプログラムといえますが、北米現地校からの帰国生徒にとっては、現地校での学び方をそのまま継続できる形です。音楽は Band (管楽器)、Strings (弦楽器)、Chorus (合唱) の3種類からの選択となります。

英語で一番高いレベルに認定された生徒は OIS の English の授業をとることができます。また、帰国後、日本語に慣れるまでは、「国語」の代わりに OIS の Japanese の授業をとることができます。そのほか、英語力に応じ、IB History, Multi-media, Model United Nations などの授業を OIS と合同で受けることができます。

2009 年度 入試の概要

帰国生入試	2010 年 1 月
帰国生特別入試	2009 年 11 月、2010 年 3 月 (上記帰国生入試以降に帰国された方対象)
海外生入試	2009 年 11 月 (ロサンゼルスとボストンで実施予定)